

グッドプラクティス集
— 参考優良事例の紹介 —
Ver.1

(被災ペット関連)

平成23年4月12日
自然環境局動物愛護管理室

① 多様な関係者の連携による動物救護の取り組み (仙台市の例)

仙台市では**仙台市被災動物救護対策臨時本部**を立ち上げ多様な関係者が連携し、被災ペットの救護活動を行っている。

仙台市動物管理センター

飼い主のいなくなった犬猫を保護し、元の飼い主への返還や新たな飼い主への譲渡。

仙台市獣医師会

動物病院において飼い主が被災したために飼えなくなった動物の一時預かり。

NPO法人(2団体)

各避難所を回ってニーズや課題などの情報収集と物資運搬。

その他(事業者等)

市内のペットショップがペットフード等の物資の集積拠点としてスペースを提供。

② 避難所における取り組み

同行避難したペットがトラブルにならないよう配慮

- ・ペットと同伴している被災者との生活空間の分離
(ペット同行避難者専用の居住スペース(区画分け、
空き教室、別棟)の提供)
- ・獣医師による巡回、健康
相談
- ・ペットアレルギーの方へ、
ポスター等による周知



③ 仮設住宅での動物飼育支援 (岩手県の例)

＜陸前高田市及び釜石市＞

仮設住宅でのペット連れ入居を容認

＜岩手県＞

ケージ等の物資や
アドバイス等の支援



(参考)平成16年 中越地震での事例

- ペットの飼育世帯を1区画にまとめる。
- 別棟に動物用プレハブ施設を設置し、住民共同での飼育管理
- 自治体は、ペットの健康相談、伝染病予防接種、ケージなどのペット用品の貸出
- 動物飼育ルールづくり



④ 被災ペットへの給餌活動

(参考)平成16年 中越地震での事例

- 全村避難した山古志村へ取り残された動物へのペットフードの給餌
- 飼育世帯地図を作成の上、県職員による給餌を実施